

飛び歩記



立花俊治

ヒトが免疫を持っていないコロナウイルスの襲撃を受けて、世界で5月13日時点で約400万人感染して30万人がなくなっています。欧米で想定外の被害が発生し、上を下への大わらわです。

コロナに負けないで頑張りぬきましょう

3月の小中休校、緊急事態宣言で自粛疲れと何時収束できるのかわからない閉塞感に覆われています。金儲け優先、公衆衛生をおろそかにしてきたつけがまわっています。

5月臨時市議会では、マスクの確保や地域経済対策などについて質問し、市長へ緊急事態なので財政調整基金の取り崩しも含めてワンチームで善処するよう3回にわたり要望書を提出しました。

引き続き6月議会に向けて予算組み替えも含めた長期的な財政支出の必要性の世論形成と議会活動を頑張っています。



左から 立花、高木、岸本 各議員、岡田市長

日本共産党議員団 要望書提出

積立金の思い切った活用で予算編成を

日本共産党の議員団は、4月23日に加古川市長にコロナ感染に対する要望書を提出しました。国に対して補償を求めることと、市においては思い切った予算編成で市民の命と暮らし教育を守ることを求めています。

懇談の中で、市政としては国の施策に加え、市独自の事業の充実をさらに図っていくことを確認しました。

自粛事業者に20万円支給を

- ・ 要望の主な内容は
- ・ 全市民に一律1万円支給約26億円
- ・ 自粛に対する補償金として事

立花市議電話で奮闘中

- ・ 業者に20万円支給（例、千葉県市川市）
- ・ 国民健康保険・介護保険料の徴収猶予を行う
- ・ 保育料の減額を行う
- ・ 一人親世帯への支援を行う（例、明石市）
- ・ 水道・下水道料金徴収猶予を行う等、12項目の要望をしました。



電話で要求を聞く立花議員

日本共産党議員団は学童保育所、公設卸売市場等を訪問し直接声を聴くとともにアンケートに寄せられた市民の声を市に届けました。

また、立花俊治市議はコロナ感染で、外出が自粛が求められている中、6月議会に向けてみなさんのご意見、ご要求をお聞かせくださいと電話で呼びかけています。

加古川市は6月議会でもコロナ対策について補正予算を作成する予定です。

あなたのご意見、ご要望をお聞かせください。

連絡先は 立花議員
090-5127-4316

お役立ち情報

国予算

- 4/27に住民基本台帳記載者全員に10万円を給付。
5/27申請書送付→5/28から受付→8/28締め切り
- 持続化給付金 中小企業200万円 個人事業者100万円を給付
- 児童手当受給者の子育て世帯臨時特別給付金 1万円
- 住居確保給付金3万9千円
失業、3か月・最長9か月 申請先：加古川市生活福祉課
- 雇用調整助成金特例措置 1万5000円程度を給付
4/1～6/30迄に加古川ハローワークに申請
- 新型コロナウイルス感染症による小学校休業対応支援金1日4100円
フリーランスが休校で仕事ができなくなった際に支給。
申請先〒176-0012東京都豊島区池袋2-65-18池袋ウエストビルパー ソルワークスデザイン株式会社
- 国民健康保険・後期高齢者に傷病手当金
傷病手当支給制度を新設 新型コロナ感染で仕事ができない人対象
- 国民健康保険・後期高齢者減免制度
所得300万円以下で30%減収だと全額免除
- 介護保険料免除制度
所得200万円以下で30%減収だと全額免除



加古川市独自の給付など実現

5月の臨時市議会でも決まった主な事業は、次のような内容です。

市独自の支援策として約7億5000万円、予算総額は約27億7000万円です。

部

- 水道基本料金4ヶ月9月まで6カ月間無料 7・3億円

部

- 弁当購入クーポン券 3639・6万円

部

- 小売業・飲食店等維持支援事業補助金 5000円のクーポン商品券を全世帯に配布。

- 離職者生活支援給付金 市単独で2億円

- 失業した人10万円 産業経済

- 市単独で2・2億円